

# ブレスター・プラス (発想トランプ&ブレスター)

このゲームは、アイデアを言い、カードを得てゆきゲーム終了時に多くのカード持っている人が勝ちます。ただし、カードには傾斜配点があります。詳しくは後ほど。

## 1) 準備

4人で1組になります。お互いに知らない場合は「他己紹介」ワークを行います。

時間：1+2分

## 2) お題を決める

テーマリストから、1つ選びます。

それぞれにやりたいものを決めたらせーの、で指す、などしてグループで1つ決めます。

時間：90秒

## 3) 発想トランプを全て机の上に広げる

向きはバラバラで結構です。カルタ取りの要領で。なお、文章の何も書いていないカードは外します。

## 4) 30秒で出来るだけカードを取る

まずジャンケンし、勝った人から、時計回りに番が回ります。

自分の番では30秒間の持ち時間があります。

発想テーマに対して、トランプのどれか一枚のフレーズを発想の切り口にしてアイデアを言います。言えたら、そのトランプは手元に獲得できます。

30秒間は何回でも、「アイデアを言ってカードを

得る」事をしてもOK（一つのアイデアで取れるアイデアは、1枚だけ）

以降、30秒ごとに番が回ります。合計で4分（30秒×8回）行います。

なお、後ろになるほど、カードは取りにくくなりますが、これはそういう構造を利用して発想力を引き出す効果もありますので何とか頑張っ、カードを獲得し続けて下さい。

## 【!】 うまく発想するコツ

「ブレイズ・ファースト」

”アイデアの良い所に光を当ててコメントする”

自分の番で無い時にも、他の人の出すアイデアについて、良い所をコメントしてあげることはOKです（むしろ推奨します）。

そうすることでアイデアを言いやすい雰囲気を作成でき、かつ、肯定的な心構えで思考する事を通じて、コメントした人も、自分の創造力を刺激し、発想のための能力を暖めていくことが出来ます。

## 5) 4色の山を作る

役カードを表にして各色事の山にします。

なお、発想トランプはそのまま、場に残しておきます（重ねません）

## 6) 役カードの内容をしカードを得る

第2フェーズでは、自分の番で「役カード」を引くこと出来ます。

4色の山どれをとってもかまいません。ただし一番上のカードをとってください。

取ったうえで、カードの大きい文字を読み上げ、その指示に従ってアイデアやコメントが言えれば、そのカードを得ることができます。取れたら番が移ります。

制限時間は30秒。その間に取れない場合も、次の人に番が写ります。

なお、4色のカードは、次のような役割が設定されています。

「赤」・・・人のアイデアを褒める役割。○○

に例文を入れて、誰かのアイデアを褒めればOK。場を温め、アイデアの魅力を引き出す効果があります。

「黄」・・・突飛なアイデアを出していく役割。

大抵は無茶な指示がかかれていそれになぞらえてアイデアを出していきます。斬新なアイデアにつながりやすいカードです。

「緑」・・・たくさんのアイデアを言う役割。

ただし縛りが無いので自由に案を出せます。発案の敷居をさげ、沢山出すことで、徐々に質を生み出す効果があります。

「青」・・・誰かのアイデアに便乗したアイデア

を出す役割。便乗の仕方はカードによって違います。既出案を発展させたり、別バージョンの案を生み出したりする効果があります。

なお、カードの上に「全員モード」という文字があり、全員が～～する、とありますがこのルール

では「引いた人だけが～～する」と読み替えて下さい。(これは、本格ルールの時の戦略的カードです。今回は複雑になるので、普通のカードと同じ扱いにします)

役カードがどうしても、引けない時は、発想トランプで、アイデアを出します。

ただし、発想トランプは「トランプ3枚で、役カード1枚分のカウント」になります。出来る限りは役カードを使ったほうが、勝ちやすくなります。

では、15分間、ゲームを続けて下さい。

時間：15分間

## 7) 罰ゲームの実施

ゲーム終了時、役カード+1/3[発想トランプ]の点数を数えます。

最も多い人が優勝です。【拍手！】

最も少ない人(複数いればジャンケンで負けた方)が罰ゲームです。

優秀した人は、テーマリストの裏を見て、罰ゲームを選び、読み上げて下さい。

罰ゲームの人はそれを実施します。

時間：2分間(終わってなくても終了です)

以上で、発想トランプ&プレスターを、終えます。

元のように片付けてください。